

令和 7 年 度

主要施策の成果に関する報告書

西脇多可行政事務組合

主 要 施 策 の 成 果 に 関 す る 報 告

令和 7 年度（令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日）西脇多可行政事務組合一般会計決算を西脇多可行政事務組合議会に提出するに当たり、地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、この年度中における主要施策とその成果について報告いたします。

令和 7 年度一般会計の予算額は、当初予算と補正予算を合わせて、最終予算額は 8,598,320,000 円となりました。

これに対する歳入決算額は 4,568,571,902 円（執行率 53.1%）、歳出決算額 2,560,328,625 円（執行率 29.8%）で、形式収支は

2,008,243,277 円となりました。また、繰越明許費財源

1,956,900,000 円を除いた実質収支額は 51,343,277 円となり、そのうち 25,700,000 円を財政調整基金に積み立てています。

令和 7 年度決算の状況

（単位：千円）

区 分	一 般 会 計
歳 入 総 額	4 , 5 6 8 , 5 7 2
歳 出 総 額	2 , 5 6 0 , 3 2 9
歳 入 歳 出 差 引 額	2 , 0 0 8 , 2 4 3
翌年度へ繰越すべき財源	1 , 9 5 6 , 9 0 0
継 続 費 通 次 繰 越 額	0
繰 越 明 許 費 繰 越 額	1 , 9 5 6 , 9 0 0
事 故 繰 越 し 繰 越 額	0
実 質 収 支 額	5 1 , 3 4 3
実質収支額のうち地方自治法の規定による基金繰入額	2 5 , 7 0 0

業 務 課

○ 斎場業務

西脇多可広域斎場「やすらぎ苑」の斎場業務は、管理を代行する一般財団法人西脇市住民サービス公社（指定管理者）と連携を密にし、サービスの充実と向上に努めました。

◎ 西脇多可広域斎場の市町別利用状況 (単位：件)

	7 年度				6 年度	比 較
	西脇市	多可町	管外	合計		
遺 体 の 火 葬	540	286	14	840	895	△ 55
胞 衣 物 等 の 焼 却	0	0	0	0	1	△ 1
遺 体 の 一 時 保 管	340	199	5	544	564	△ 20
小 動 物 の 火 葬	330	154	57	541	515	26
葬 祭 場 の 利 用	333	151	1	485	518	△ 33
和 室 利 用 (葬 祭)	55	38	3	96	111	△ 15
和 室 等 利 用 (そ の 他)	699	342	6	1,047	1,142	△ 95
祭 壇 の 飾 り 付 け	522	216	7	745	817	△ 72
霊きゅう車の運行	540	286	13	839	890	△ 51

◎ 西脇多可広域斎場の使用料の決算状況 (単位：円)

	7 年度決算額	6 年度決算額	比 較
遺 体 の 火 葬	18,363,400	19,509,600	△ 1,146,200
胞 衣 物 等 の 焼 却	0	2,100	△ 2,100
遺 体 の 一 時 保 管	5,449,500	5,922,000	△ 472,500
小 動 物 の 火 葬	5,339,250	5,328,750	10,500
葬 祭 場 の 利 用	49,468,800	52,427,000	△ 2,958,200
和 室 利 用 (葬 祭)	6,713,600	7,212,800	△ 499,200
和 室 等 利 用 (そ の 他)	18,985,050	20,134,170	△ 1,149,120
祭 壇 の 飾 り 付 け	38,713,500	42,115,500	△ 3,402,000
霊きゅう車の運行	15,358,750	16,474,300	△ 1,115,550
合 計	158,391,850	169,126,220	△ 10,734,370

○ 清掃業務（みどり園）

1 適正かつ効率的な清掃業務体制の確立

管内における資源循環型社会の進展を目指し、ごみ分別収集を基本とする清掃事業計画のもと、ごみの減量と徹底した分別対策を行うなど適正かつ効率的な清掃業務の運営に取り組みました。

ごみ処理施設においては、周辺環境に配慮した計画的な焼却運転と各種設備機器類の更新や定期的な点検整備など、適正な維持管理に努めるとともに、新ごみ処理施設においては、長期包括運営委託に向けた準備を進め、新ごみ処理施設の試運転に併せて必要な措置を行いました。

(1) ごみ処理施設の運転管理

ごみ処理施設については、周辺環境への負荷を軽減し、運転管理の効率化と低コスト化を図るため、1炉による24時間連続運転（月曜日～土曜日）を基本としました。なお、新ごみ処理施設への移転に伴い、旧施設の焼却運転を3月末で終了し、閉炉としました。

多可町中区に整備を進めている新ごみ処理施設については、2炉による24時間運転（年間）を基本とする焼却処理（試運転）を2月から開始しました。また、新施設は、設計・施工及び整備後の長期包括方式を採用していることから、ごみ処理運転及びリサイクル業務のほか、中間処理施設全体の運営管理委託としました。

(2) 休日収集

通常計画収集に加え、「燃えるごみ」については、休日（祝日）収集を実施するなど住民サービスの向上に努めました。

◎ 休日収集実施日

7月21日（月）	8月11日（月）	9月15日（月）
9月23日（火）	10月13日（月）	12月29日（月）
12月30日（火）		

(3) 大型ごみの日曜受付

住民の利便性を図るため、平日の業務日に加え、毎月第3日曜日（午前9時から午前11時30分まで）に大型ごみの搬入受付を実施しました。

◎ 大型ごみの日曜受付

受付件数	持込個数
1,116件	7,762個

(4) 家電リサイクル品等の適正処理

テレビ・エアコン・冷蔵（凍）庫・洗濯機（衣類乾燥機含む。）の4品目については、家電リサイクル法に基づき適正な回収処理を推奨しました。

家庭用パソコンについては、資源有効利用促進法によりメーカー等による回収を促すとともに、使用済小型電子機器については、管内の公共施設に無料回収ボックスを設置することにより、住民の利便性の向上と資源の有効活用を図りました。

(5) ごみ処理施設及び埋立処分地の公害防止対策

ごみ処理施設については、主要機器の精密機能検査の結果と長期維持補修計画をもとに、損耗・老朽箇所等の計画補修に努めました。また、焼却運転についても連続運転を基本としました。

安定した燃焼管理に努めるとともに、ダイオキシン類の低減化を図るなど、発生抑制に万全を期しました。

ごみ処理施設の排ガス中のダイオキシン類の測定結果は、下表のとおり国の定める基準値（5ナノグラム）及びみどり園の目標基準値（1ナノグラム）を下回る値でした。

今後も、ごみ焼却施設の適正な運転と燃焼管理を行い、これら有害物質発生の抑制に努めます。

◎ ごみ処理施設排ガス中のダイオキシン類の測定結果

区分	測定実施日	測定値
1号炉	令和7年6月27日	0.13ナノグラム（ng-TEQ/m ³ N）
	令和7年8月12日	0.22ナノグラム（ng-TEQ/m ³ N）
	令和7年11月7日	0.16ナノグラム（ng-TEQ/m ³ N）
2号炉	令和7年5月16日	0.19ナノグラム（ng-TEQ/m ³ N）
	令和7年9月26日	0.30ナノグラム（ng-TEQ/m ³ N）
	令和8年1月30日	0.26ナノグラム（ng-TEQ/m ³ N）

※ナノグラム（ng）：10億分の1グラム

埋立処分地「みどり園はやすクリーンセンター」では、週3日（月曜日、水曜日及び金曜日の午後1時から午後4時まで）、不燃物の搬入受付を行い、適正な埋立管理と浸出水処理施設の円滑な運転に万全を期しました。

廃止確認手続が終了している「南部処理センター」は、西脇市に太陽光発電所用地として有償貸与し、有効な跡地利用を継続しました。

(6) 焼却灰（固化灰）等の処分

ごみ処理施設の焼却灰（固化灰）等については、みどり園はやすクリーンセンターを中継基地として、大阪湾広域廃棄物埋立処分場（フェニックス事業）へ運搬し、適正に処分しました。

◎ 処分量

処分先	処分量
大阪湾広域廃棄物埋立処分場	1,010.7トン

2 住民参加によるリサイクル運動の推進

北播磨リサイクルプラザは、住民の自主的な参加を促すリサイクル運動の拠点・支援施設及びリサイクル情報の発信基地として活発な運営に努めました。

また、管内の小学生や住民団体の施設見学の受入れをはじめ、管内自治体及び地域主催のイベントにも参加し、清掃業務やごみの分別ルールについての啓発を行いました。

(1) リサイクルプラザ事業

「Rショップ」では、衣服、食器、おもちゃ等のリサイクル品を常時販売するとともに、まだ使える家具類や自転車等の中古品の補修を行い、抽選方式による販売会やリサイクル小物家具の即売会を開催しました。また、廃食用油から環境にやさしい粉石けんを作る「リサイクル体験」等の事業を行い、住民参加のリサイクル活動を展開しました。

◎ リサイクルプラザ利用状況等

リサイクルプラザ利用者数	4,135人
Rショップ売上金（家具類等含む。）	1,472,310円

(2) 「生かそう資源ごみ運動」助成事業

資源ごみの集団回収は、ごみの資源化に最も有効な手段であり、多くの住民が参加するリサイクル運動の一環として管内全域に定着し、ごみの減量化にも寄与しています。

回収量については、紙のデジタル化普及と民間による段ボール等のリサイクル回収などにより新聞、段ボール、雑誌等の古紙の回収量は大幅に減少しています。このため、資源ごみの排出量の減少に加え、地域の少子化に伴い、実施回数及び実施団体数も減少傾向にあります。

◎「生かそう資源ごみ運動」助成事業の実施結果

区 分	助 成 団体数	回 収 量 (kg)			助成金額 (円)
		古紙類	古 布	合 計	
西脇市	59	446,014	100,531	546,545	4,521,393
多可町	50	350,390	72,440	422,830	3,419,720
合 計	109	796,404	172,971	969,375	7,941,113

3 ごみ減量化と資源化・再生利用の促進

便利で豊かな消費生活は、その一方で、大量のごみを生み出し、環境を悪化させるという問題を抱えています。

このような社会環境において、物を大切にする環境にやさしいリサイクル社会の構築に向けて、一人ひとりが生活スタイルを見つめ直すことが求められていることから、分別収集とリサイクルを基本とする清掃事業と積極的な啓発活動を行いました。

(1) 広報誌「ザ・リサイクラー」の発刊等

当組合広報誌「ザ・リサイクラー」を定期的に発刊しました。

各種リサイクル情報の提供、リサイクルプラザの諸事業の紹介のほか、ごみに関するルールやマナー、新ごみ処理施設の建設情報等を発信しました。また、分別収集を円滑に行うための「収集カレンダー」を管内世帯に全戸配布するとともに、ごみ分別促進アプリによる配信を引き続き実施しました。このほか、ごみステーションの看板を利用したきめ細かな啓発・広報活動を行いました。

(2) 資源化業務

ごみの減量化、資源化を促進するため、再生利用が可能なスチール、アルミ、ビン、容器包装プラ、ペットボトル、ふとん等の資源化に努め、有価物については売却収入を得ました。

◎資源化物の量と売却収入一覧表

品 目	量(kg)	金額(円)
非鉄金属類 (アルミ)	44,440	10,273,472
鉄 類 (焼却鉄・スチール)	211,490	5,610,759
紙 類	2,560	10,240
ペットボトル	49,360	3,174,512
容器包装プラ	241,920	—
ふ と ん	1,400	1,540
衣 類	4,140	9,108

(3) 水平リサイクル事業の取組

令和4年3月にサントリーグループと締結した「使用済みペットボトルリサイクル事業に関する協定」に基づき、ペットボトルの水平リサイクル事業を引き続き行い、循環型社会の形成及びSDGsの推進に寄与しました。

(4) ごみ減量化に向けての取組

平成19年に実施した指定収集袋制度（有料化の導入）と「容器包装プラ」の分別・リサイクルの推進に加え、人口減少等の社会構造の変化の要因もありますが、減量効果を維持・目標基準を達成しています。なお、生活系定期収集ごみの量は、前年度と同量となりました。事業系ごみに関しては、草木等の搬入量が若干減少したことにより、前年度より1.1%の減少となりました。

また、管内自治体が実施する食品ロス削減のためのフードドライブや廃食用油回収の受入れ事業所として参加しました。

4 職員等の安全衛生体制の強化

清掃業務は、ごみ収集部門、ごみ処理部門ともに労働災害の危険度が高く、安全衛生対策に万全を期することが求められます。

毎月1日を安全の日とし、職員間の安全意識の確認に取り組むとともに、当組合の現場業務に係る必要な技能の取得のため、安全運転管理者等講習会などに職員を派遣しました。

また、交通安全研修や自衛消防訓練を実施することにより、交通安全や火災発生時の緊急対応に関して、適切に対処できるよう知識の習得や訓練に取り組み、労働災害の未然防止と来場者及び現場作業の安全確保に努めました。

◎職員研修の実施状況

研	修	名	日数	人数
安全衛生等	安全運転管理者等講習会		1日	1人
	交通安全研修		1日	20人
	消防防火訓練		1日	45人
その他	安全衛生推進者養成講習		2日	1人

認 定 審 査 課

○ 認 定 審 査 会 業 務

1 介 護 認 定 審 査 会 の 業 務 状 況

介護認定審査業務は、延べ 170回（前年度比11回増）の審査会を開催し、合計 3,417件（前年度比 182件増）の審査判定を行い、迅速かつ公正な認定審査に努めました。

◎ 市 町 別 介 護 認 定 審 査 状 況

	新規(件)	更新(件)	合計(件)	割合(%)
西脇市	1,093	1,247	2,340	68.5
多可町	460	617	1,077	31.5
計	1,553	1,864	3,417	100.0

◎ 要 介 護 度 別 の 認 定 状 況

	新規(件)	更新(件)	計(件)	割合(%)
非該当	14	2	16	0.5
要支援1	207	111	318	9.3
要支援2	154	221	375	11.0
要介護1	350	397	747	21.9
要介護2	225	377	602	17.6
要介護3	211	309	520	15.2
要介護4	249	275	524	15.3
要介護5	143	172	315	9.2
合計	1,553	1,864	3,417	100.0

◎ 介 護 認 定 審 査 会 の 判 定 （ 二 次 判 定 変 更 割 合 ）

判定	件数(件)	割合(%)
軽度変更	0	0.0
変更なし	3,389	99.2
重度変更	28	0.8
合計	3,417	100.0

◎市町別介護認定審査件数の推移

(単位：件)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
西脇市	1,520	1,785	2,745	2,168	2,340
多可町	868	1,212	1,017	1,067	1,077
合 計	2,388	2,997	3,762	3,235	3,417

2 障害認定審査会の業務状況

障害認定審査業務は、延べ12回（前年度比同じ）の審査会を開催し、認定者数 129人（前年度比33件減）の障害程度区分判定を行い、迅速かつ公正な審査判定に努めました。

◎市町別・障害別認定審査状況

	障害別審査件数(件)				認定者数 (人)	割 合 (%)
	身体 障害	知的 障害	精神 障害	難病等		
西脇市	26	47	14	1	70	54.3
多可町	13	43	16	0	59	45.7
合 計	39	90	30	1	129	100.0

(注) 障害が重複する審査対象者は、障害別審査件数にそれぞれ計上しているため、その合計件数と認定者数とは一致しない。

◎障害程度区分別の認定状況

	障害別審査件数(件)				認定者数 (人)	割 合 (%)
	身体 障害	知的 障害	精神 障害	難病等		
非該当	0	0	0	0	0	0.0
区分1	1	0	0	0	1	0.8
区分2	1	11	10	0	20	15.5
区分3	8	14	8	0	25	19.4
区分4	5	25	9	0	34	26.3
区分5	7	19	3	1	24	18.6
区分6	17	21	0	0	25	19.4
合 計	39	90	30	1	129	100.0

(注) 障害が重複する審査対象者は、障害別審査件数にそれぞれ計上しているため、その合計件数と認定者数とは一致しない。

◎ 障害認定審査会の判定（二次判定変更割合）

判 定	認定者数(人)	割 合(%)
軽度変更	0	0.0
変更なし	126	97.7
重度変更	3	2.3
合 計	129	100.0

◎ 市町別障害認定審査人数の推移 (単位：人)

	3 年 度	4 年 度	5 年 度	6 年 度	7 年 度
西 脇 市	115	75	97	116	70
多 可 町	40	71	56	46	59
合 計	155	146	153	162	129

○ 休日急患センター業務

西脇市立西脇病院内で業務を行っている西脇多可休日急患センターは、一般の診療所が休診日となる日曜日に発生する急患に対し、西脇市多可郡医師会の全面的な協力を得て一次診療を行い、その使命を果たすとともに、西脇病院との連携強化、機能・役割分担に取り組みました。

1 利用状況

令和7年度の利用状況は、診療日数52日間に262人が受診し、受診者総数は、前年度に比べ6人増加しました。

また、1日当たりの受診者数は、前年度と同様の5.0人となりました。

◎ 休日急患センターの利用状況

	7 年 度	6 年 度	比較増減
診 療 日 数(日)	52	51	1
年 間 の 受 診 者 総 数(人)	262	256	6
うち入院された受診者数(人)	16	12	4
1 診 療 日 の 受 診 者 数(人)	5.0	5.0	0.0
1 診 療 日 の 診 療 収 入(円)	73,190	74,374	△1,184
利 用 者 1 人 の 診 療 収 入(円)	14,526	14,817	△291

◎ 市町別利用状況

	7 年度		6 年度		利用者数比較増減 (人)
	利用者数 (人)	割合 (%)	利用者数 (人)	割合 (%)	
西脇市	157	59.9	174	68.0	△ 17
多可町	30	11.5	29	11.3	1
管 外	75	28.6	53	20.7	22
合 計	262	100.0	256	100.0	6

資源循環課

○ 清掃業務（新ごみ処理施設整備）

令和 6 年 7 月 20 日に起工式を執り行い、令和 6 年 8 月から建設、令和 7 年 1 月からプラント工事を進めてきました。

令和 7 年 8 月の大雨で、工事の進捗に一部影響が出ましたが、令和 8 年 4 月 1 日のごみの全量受入れ開始、令和 8 年 6 月の竣工に向け、建設事業者、設計施工監理事業者と細やかな調整、工程管理のもと工事を進め、令和 8 年 3 月 23 日には火入れ式を執り行いました。

「施設の整備及び運営に関すること」、「施設の環境保全対策及び公害防止対策に関すること」についての意見交換及び連絡調整の場として、施設周辺の住民及び関係機関で構成する環境保全協議会を開催し、当協議会で決定した環境測定場所において、施設稼働前の測定を行いました。

◎ 事業の概要

（単位：円）

事業名	事業の内容	金額
新ごみ処理施設 整備事業	新ごみ処理施設に係る環境測定業務	764,500
	糞屋ダム管理基準点本復旧業務	677,600
	（仮称）西脇多可新ごみ処理施設内部情報系ネットワーク整備業務	10,527,000
	（仮称）西脇多可新ごみ処理施設建設工事（部分払い）	1,250,000,000
	県道八千代中線他道路改良工事（前金払い）	33,000,000
	地域対策費補助金	131,660

参 考 資 料

令和 7 年度一般会計決算の状況

歳 入		(単位：円、%)				
区 分 費 目	令和 6 年度		令和 7 年度		比 較（前年度対比）	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1 分担金及び負担金	1,407,530,000	40.7	1,113,468,154	24.4	△ 294,061,846	△ 20.9
2 使用料及び手数料	289,118,530	8.4	280,520,020	6.1	△ 8,598,510	△ 3.0
3 財産収入	2,285,093	0.1	5,874,172	0.1	3,589,079	157.1
4 繰入金	7,691,500	0.2	49,878,000	1.1	42,186,500	548.5
5 繰越金	50,328,083	1.5	26,069,111	0.6	△ 24,258,972	△ 48.2
6 諸収入	25,563,093	0.7	27,600,445	0.6	2,037,352	8.0
7 国庫支出金	536,313,000	15.5	439,062,000	9.6	△ 97,251,000	△ 18.1
8 組合債	1,137,800,000	32.9	2,626,100,000	57.5	1,488,300,000	130.8
歳 入 合 計	3,456,629,299	100.0	4,568,571,902	100.0	1,111,942,603	32.2

歳 出（目的別）

（単位：円、％）

区 分 費 目	令和 6 年度		令和 7 年度		比 較（前年度対比）	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
1 議 会 費	270, 212	0. 0	328, 851	0. 0	58, 639	21. 7
2 総 務 費	43, 047, 322	1. 3	45, 249, 722	1. 8	2, 202, 400	5. 1
3 民 生 費	40, 925, 538	1. 2	57, 804, 833	2. 3	16, 879, 295	41. 2
4 衛 生 費	3, 316, 352, 254	97. 4	2, 433, 258, 169	95. 0	△ 883, 094, 085	△ 26. 6
5 公 債 費	3, 764, 862	0. 1	23, 687, 050	0. 9	19, 922, 188	529. 2
歳 出 合 計	3, 404, 360, 188	100. 0	2, 560, 328, 625	100. 0	△ 844, 031, 563	△ 24. 8

歳 出（性質別）

（単位：千円、％）

区 分 費 目	令和 6 年度		令和 7 年度		比 較（前年度対比）	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比	増 減 額	増減率
人 件 費	158, 085	4. 7	168, 138	6. 6	10, 053	6. 4
物 件 費	705, 096	20. 7	795, 128	31. 1	90, 032	12. 8
維持補修費	231, 300	6. 8	80, 138	3. 1	△ 151, 162	△ 65. 4
扶 助 費	240	0. 0	240	0. 0	0	0. 0
補 助 費	75, 302	2. 2	74, 840	2. 9	△ 462	△ 0. 6
普通建設事業費	2, 111, 577	62. 0	1, 305, 156	51. 0	△ 806, 421	△ 38. 2
公 債 費	3, 765	0. 1	23, 687	0. 9	19, 922	529. 1
積 立 金	118, 995	3. 5	113, 002	4. 4	△ 5, 993	△ 5. 0
歳 出 合 計	3, 404, 360	100. 0	2, 560, 329	100. 0	△ 844, 031	△ 24. 8

市町別ごみ収集・処理量の推移

1 燃えるごみ（令和3年度～令和7年度実績）

（単位：トン）

年度	生活系定期収集ごみ			事業系ごみ （搬入ごみ）	合 計
	西脇市	多可町	小計		
3	5,992	2,731	8,723	4,378	13,101
4	5,840	2,663	8,503	4,303	12,806
5	5,550	2,549	8,099	4,675	12,774
6	5,291	2,453	7,744	4,984	12,728
7	5,273	2,471	7,744	4,928	12,672
	(0.3%減)	(0.7%増)	(0.0%)	(1.1%減)	(0.4%減)

前年対比

2 資源ごみ・不燃ごみ（令和3年度～令和7年度実績）

（単位：トン）

年度	生活系定期収集ごみ			事業系ごみ （搬入ごみ）	合 計
	西脇市	多可町	小計		
3	773	313	1,086	129	1,215
4	767	301	1,068	133	1,201
5	674	275	949	161	1,110
6	630	260	890	162	1,052
7	593	252	845	143	988
	(5.9%減)	(3.1%減)	(5.1%減)	(11.7%減)	(6.1%減)

前年対比

3 大型ごみ（令和7年度実績）

（単位：個）

品目	大型ごみ搬入及び戸別収集		合 計
	西脇市	多可町	
電気製品類	3,709	1,329	5,038
家具類	7,521	2,977	10,498
金属類	4,132	1,370	5,502
建具類	1,273	830	2,103
寝具類	22,485	9,469	31,954
その他	15,701	5,643	21,344
合 計	54,821	21,618	76,439
	(23.1%増)	(0.3%減)	(15.4%増)

前年対比

4 再生利用（令和3年度～令和7年度実績）

（単位：トン）

年度	金属類	ビン	紙類	ペットボトル	容器包装プラ	ふとん	衣類	合 計
3	277	295	1	48	302	9	—	932
4	243	291	2	50	288	5	—	879
5	248	273	1	46	292	2	—	862
6	227	261	4	52	261	1	—	806
7	256	241	3	49	242	1	4	796
	(12.8%増)	(7.7%減)	(25.0%減)	(5.8%減)	(7.3%減)	(0.0%)	(皆増)	(1.2%減)

前年対比